

琉球新報社・(一社)勁草塾沖縄事務所共催

年末講演会のご案内

寺島実郎監修・(一財)日本総合研究所編

2020年版都道府県幸福度ランキング から見る沖縄について



講師：(一財)日本総合研究所理事長 **松岡 斉** 様

プロフィール

55年徳島県生まれ、中央大学法学部・マラヤ大学大学院公共政策科を卒業、日米のシンクタンクで研究員を務める。93年(一財)日本総合研究所に入所、18年理事長に就任し現在に至る。この間、国・自治体・企業の政策、施策、経営方針策定に係る、制度設計、基準作り、コンサルティングに従事。12年より、県幸福度研究プロジェクトリーダーとして東洋経済新報社から「全47都道府県幸福度ランキング」を5回にわたって出版中。他、国際経済、ジェントロジー研究等に係るエッセイを執筆中。

新型コロナウイルスの猛威が、世界中を覆っています。この間、得られた多くの知見はその克服と、人類や地球の存続にむけ生かさなければなりません。未来に向け希望を持ち連帯し歩んでいこうではありませんか。

一方、国内外の政治状況は、残念ながら混迷の度を深くしています。とりわけ、我が国はトップが変わったものの、その実態は前政権の継続であり、日本学術会議委員の任命に見られるように、人事に名を借りた独裁政治が強行されています。問答無用の辺野古新基地建設等、憲法を無視し続ける行為は、民主政治とかけ離れた存在です。

しかし、私達主権者は、ねばり強く国家主義、国権主義に抵抗し民主主義の定着、熟成を目指さなければなりませんし、生活の場・地域・働く場から、自らを見つめ行動していく必要があると思います。今回の講演会(裏面に趣旨を掲載)は、その行動の一助に繋がればと考え開催するものです。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日時 2020年12月16日(水) 午後6時開場
午後6時半開演～午後8時終了

会場 琉球新報ホール(那覇市泉崎1-10-3)

新型コロナ対策として、座席間隔に十分余裕を持たせます。(最大着席数の半数にします。)

ご来場の際、各自マスク着用と、入り口にて消毒のご協力をお願いします。

資料代 500円(当日受付で)

共催：琉球新報社、(一社)勁草塾沖縄事務所 後援：沖縄県、連合沖縄、(一社)寺島文庫
申し込みは、下記までFAXまたはEメールにてお願いします。先着300名様で、締め切らせていただきます。

(一社)勁草塾沖縄事務所 Eメール okinawa@keisoujuku.jp FAX 098-831-5875

講演会申し込み

お名前

住所

Eメール
又は
F A X

幸福度ランキングと沖縄

あなたは幸福ですか?と、尋ねても、すぐ忘える方は少ないと思います。仮に忘えられても三者三様どころか、その基準や判断を示しても、なかなか決められるものではないと思います。人の幸福感は、基準や数値ではないし、各自の主観的なもので、ましてや行政・政治が決めるものでは基本的にはないと思います。

ただ、人は一人個人で生活・営みを成すのではなく、家族や地域社会の中で生きています。その地域社会全体の幸福(豊かさ)を求める事は必要であり、基本要素となる社会経済的なポテンシャルを踏み固めることは、より幸福な地域づくりを考える基盤として必要と考えます。

そこで、地域の幸福に資すると考える客観的な指標を集め「幸福度指標」と定め、2012年12月に日本でいちばんいい県、「全国都道府県幸福度ランキング」を刊行し、2020年版で5冊目になりますが、編集者である(一財)日本総合研究所の松岡 斉理事長に、その内容を講演いただく事になりました。

沖縄県民にとり、指標の中に自衛隊の基地・在日米軍基地の存在が含まれているか?重要な課題であることは言うまでもありませんが、含まれていません。日本総研にとり原発問題も含め如何に位置づけるのか課題になっています。

しかし、その点を念頭に置きつつも、「健康(医療、福祉)・文化(余暇、国際)・仕事(雇用、企業)・生活(個人、地域)・教育(学校、社会)」等の指標から見た沖縄県を分析することは重要であり、コロナ禍による社会変化を捉えた政策を構築するための認識に繋がるものと考えます。

必死で生きている一人一人の市民が孤立することなく、如何に地域で連帯し生活するかその一助になることを期待します。